

令和6年度 第2回 竜禅寺小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月16日（火） 15時00分から17時20分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 会議室
- 3 出席委員 北井 実香、松本 直己、新井 和美、加藤 京子、
高須 道男、柳川 春彦、鈴木 宏幸、青島 早苗
- 4 欠席委員 寺田 成一
- 5 オブザーバー 加藤 晴康（南部協働センター）
- 6 学 校 谷野 幸代（校長）、佐々木和也（教頭）、石塚 智香（CS担当教職員・1年学年主任）、徳田 ゆり（2年学年主任）、藤村さとみ（3年学年主任）
- 7 傍 聴 者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 朝実
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、高須委員から青島副会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）各学年の教育活動について
- （2）1学期末の学校評価と改善策
- （3）学校運営に必要な支援について

11 会議記録

司会の高須委員から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）各学年の教育活動について

〔一年生〕主任より児童の実態や授業の様子、運動会、他学年との関わりについて説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・コミュニケーションが苦手な児童への対処はどのようにしているのか。
（高須委員）

→まずは隣の友達、担任との交流から始めている。

- ・計算カードはどれぐらいのレベルの物を使っているのか。（松本委員）

→現在は、足し算では繰り上がりのないものを使っている。

- ・文字の読み書きのレベルはどのくらいか。（松本委員）

→書く方は、まだ、字配りがうまくいかない児童が多い。3月には4月に書いた自分の字と比べ、成長を実感させたい。

- ・タブレットへの入力指導はどのように進めているのか。（松本委員）

→まずは、1文字だけ打つところから始めている。

- ・低学年児童に挨拶の声掛けがいいものかどうか迷う。（鈴木委員）

→挨拶を交わすことの大切さを伝えているが、防犯の面から知らない人から声を掛けられたら逃げることも話している。

- ・大人が積極的に、にこにこして挨拶の声を掛けると和む。大人が続けていくことが大切ではないか。（高須委員）
- ・会釈だけでもいいのではないか。（新井委員）

〔2年生〕主任より、学年のテーマ「にじいろ」や学習の様子（1年生との交流、野菜の栽培）などとともに、学年の課題（時刻の守らせ方や学習ボランティアの必要性など）についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・1年生との交流はどのようなグループで行ったのか。（松本委員）
- 1～6年生までが1つのグループになった、縦割りグループを活用した。
- ・町探検はどのような感じで行うのか。（松本委員）
- 町にあるものを見付けたり、働いている方々の話を聞いたりする。
- ・ぜひ、アライデザイン工芸さんを訪れたらどうか。（高須委員）
 - ・児童が来たら話をするができる。仕事の内容は見せられる。ものづくりに興味をもってほしい。（新井委員）

〔3年生〕主任から学習の様子や朝の挨拶列車、学年テーマ「やってみよう」などとともに、学年の課題（学習ボランティアの必要性）について説明があり委員からは以下の発言があった。

- ・中学校では生徒の解答をAⅠが評価することがある。字を書くことが苦手な児童は、解答をAⅠが読めず評価されないことがある。（北井委員）
 - ・字を書くことは、生活していく上で大切だと感じている。また、手で書かない限り、漢字は覚えなとも考えている。（新井委員）
 - ・地域ボランティアに関して、以前は龍禅寺の住職がよく児童に話をしてくれていた。（鈴木委員）
 - ・地域には古くから続く店がある。そんなお店を児童に紹介したらどうか。（新井委員）
- 店はもちろんだが、高須委員はサッカーを通して地域を見守っている。そんなお話を委員から児童にしていだきたいところだ。
- ・跡を継ぐ人がいて長く続けること、それが良いことだと考える。商売とは始めるよりも続けることが難しい。（新井委員）
 - ・先ほど1年生の生活科「昔の遊び」の学習ボランティアについて話があったが、それは、松本委員ぐらいの年代の方が担当として良いのではないか。（新井委員）
 - ・「昔の遊び」に関しては、南部公民館が扱うことはできないか。（高須委員）
- また、調べておきたいが「折り紙愛好会」はある。（加藤所長）

(2) 1 学期末の学校評価と改善策

校長より、6 月末に行われた学校評価の結果と改善策について説明があり、委員からは次のような発言があった。

- ・リーダーシップの伸長を求めて、縦割り活動は有効に働くのか。低学年に優しい高学年、言いたいことを言う低学年、低学年が高学年を敬うことはないような気がする。どんな縦割り活動が必要なのか。(柳川委員)
 - ・低学年が高学年を「カッコいい」と思わないといけない。(高須委員)
- 本年度 2 回目の縦割り活動では高学年が低学年を気遣っていた。回数を重ねて工夫をしている。(校長)
- ・リーダーシップを育てるのは難しいかもしれない。回数を重ねて工夫をすることが大切、それでいいのではないか。(新井委員)
 - ・評価項目の内容が難しいので、それが評価の低さになっているのでは。(高須委員)
 - ・リーダーシップの伸長には、やはりグループ活動が有効だと思う。いろいろな経験を経て「ぼくがやるよ」という子が出てくる。低学年の頃からの活動が大切だと思う。(松本委員)
 - ・経験を積み重ね、低学年児童が高学年の様子を見てまねしていく、それがリーダーシップを育てていくことにつながる。幼い頃からの積み重ねが大切と感じる。(鈴木委員)
 - ・リーダーシップよりも協調性があると思う。(高須委員)

(3) 学校運営に必要な支援について

①読み聞かせボランティア

計 29 名で実施している。

②落ち葉ボランティア

10 月 27 日が校区運動会なので連絡を取って決めていく。

③学校より

- ・運動会の開催方法について、テントの設営・片付けに職員だけでなく、地域の方々の力を借りたい。(校長)
- 地域からテントを借りられないか。(高須委員)
- ・龍禅寺町は自治会長に頼めばよい。(新井委員)
 - ・来年度以降、クラブ活動に外部講師をお願いできれば、より充実した活動ができると考える。(校長)

その他連絡・報告事項

次回の学校運営協議会は令和 6 年 1 1 月 1 5 日(金)午後 3 時から会議室にて開催する旨の報告があった。